

平成 30 年度

市長公室の取り組み実績

<部の構成>

秘書課、広報課、広聴相談課、人権政策室

1. 重点施策・事業

(1) 市の認知度向上、定住促進につながる情報発信

方向性	市の魅力を広く市内外へ PR して市の認知度向上と定住促進につながるよう、さまざまな手法による情報発信に取り組みます。
取り組み	<p>広報アドバイザーからの助言を踏まえ、地域情報誌や民間事業者とのタイアップなどにより、昨年度より取り組んでいる「マイカタちゃいます、」及び「枚方家族」をキャッチフレーズとした PR をさらに広く展開します。</p> <p>現在運用中のフェイスブック、ツイッターの充実を図るとともに、市公式インスタグラムを開設し、若年層への PR に努めます。</p> <p>動画配信を充実させ、「伝わる」を意識した情報発信に取り組みます。</p> <p>《目標値》</p> <p>市公式フェイスブック ページの「いいね！」数：年間 1,000 人増 (H30. 3 月時点：2,323 人)</p> <p>平成 30 年度当初予算：5,600 千円（広報アドバイザー報酬、広告料、委託料）</p>
実績	<p>認知度アップにつなげる PR として、「マイカタちゃいます、分布図」調査を 5 月から 9 月末に実施し、調査員 115 人の協力を得て山梨県を除く 45 都道府県 1,371 人から回答を得ました。また、3 月には山梨県甲府市に赴き武田信玄公像前で 100 人の追加調査を行い、ローカルテレビ局に取り上げられるなど広く枚方を PR しました。</p> <p>「(世界中どこにいても) 好きになってくれるならみーんな枚方家族」をキャッチフレーズとして、市 SNS をフォローしてくれた人などに「枚方家族バッジ」を配布したほか、ゆかりの著名人 17 組が「枚方家族！」と一言発する動画を作成し、市ホームページや市 SNS で公開するなど若年層への PR を展開しました。</p> <p>また、フェイスブック、ツイッター発信を積極的に行ったほか、市公式インスタグラムアカウントを 9 月末に開設し、広報課で運用するとともに各部署の若手職員による「庁内インスタグラム隊」を設置。楽しみながらお洒落な枚方を積極的に発信しました。</p> <p>吉本興業の CS 放送番組「枚方ちゅんねる」とのタイアップによりひこぼしくんの番組出演や第 1 回放送の無料配信などを実現させたほか、大阪北部地震の際には、</p>



市制施行 70 周年記念冊子
「70 年！枚方家族」

	<p>関西ぱどの協力を得て震災関連記事を「関西ぱど」及び「まみたん」に掲載し、民間事業者と連携した発信を行いました。</p> <p>《実績値》</p> <p>市公式フェイスブック ページの「いいね！」数：3,142人（昨年度から819人増）</p> <p>市公式ツイッターのフォロワー数：7,903人（昨年度から2,871人増）</p> <p>市公式Instagramのフォロワー数：2,005人</p> <p>平成30年度決算：1,846千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

（２）全庁的な情報発信力の強化	
方向性	全庁的な情報発信力をさらに高め、各部署の連携強化を図るとともに、職員の広報意識向上及びスキルアップを図ります。
取り組み	<p>庁内各課からの情報発信を支援するため、「頼りになる広報課」としての相談体制を充実させ、職員一人ひとりのスキルアップを図ります。</p> <p>本年2月に創刊した庁内報「広報のチカラ」を定期的に発行します（年4回）。</p> <p>市民3,000人を対象とした「情報発信に関するアンケート」を実施し、その調査結果をさらなる情報発信力の強化に活用します。</p> <p>職員の広報意識向上を図るための研修を実施します。</p> <p>《目標値》</p> <p>「頼りになる広報課」への相談件数：30件（昨年度比10件増）</p> <p>平成30年度当初予算：117,077千円（広報ひらかた発行経費、諸経費（広告料、委託料を除く）、ホームページ経費）</p>
実績	<p>「頼りになる広報課」の取り組みとして、各課のチラシデザインなどの相談に対応する体制を充実させ、効果的な助言を行いました。また、庁内報「広報のチカラ」を平成30年5月、12月、平成31年3月に発行し、より良い発信方法等を伝えることで職員一人一人のスキルアップを図る取り組みを進めました。</p> <p>市民3,000人を対象とした「情報発信に関するアンケート」は、ウェブでの回答も可能にし、1,162人から基礎情報として活用できる回答を得ました。</p> <p>職員の広報意識向上を図るための研修として、ターゲットの心をつかみ、無駄な問い合わせを減らすコツを伝える「伝わる書面作り講座」と、広報ひらかたの原稿を作成する上での注意点や決まりごとについて分かりやすく解説する「広報掲載ルールについて」を、各課広報担当者を対象として実施しました。</p> <p>《実績値》</p> <p>「頼りになる広報課」への相談件数：22課 37件</p> <p>平成30年度決算：88,657千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(3) 平和施策や人権施策の推進	
方向性	悲惨な戦争の経験を風化させることのないよう、戦争の恐ろしさや平和の尊さを若い世代に伝えるとともに、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりに取り組みます。
取り組み	戦争の悲惨さや平和の尊さを若い世代に伝えるため、「平和の燈火（あかり）」や「ひらかた平和フォーラム」の開催をはじめ、平和資料室のパネル展示、平和映画会、講演会などに取り組みます。 また、すべての人の人権が尊重され、差別のない社会の実現を目指し、より多くの市民が人権について身近に感じ考えることができるよう、講座や映画会など多様な人権啓発事業を展開します。 《目標値》 「ひらかた平和フォーラム」のアンケート結果における「平和に対する関心や理解が大変深まった」「まあ深まった」の割合：96%（昨年度比5ポイント増）
	平成30年度当初予算：8,456千円（平和啓発）、9,518千円（人権啓発）
実績	枚方市平和の日である3月1日にひらかた平和フォーラム、3月9日に「枚方市平和の燈火（あかり）」を実施しました。また、講演会「憲法のつどい」（5月）、平和資料室特別展「サダコと折り鶴ポスター展」（7～8月）・「原爆の絵」展（2～3月）、映画「この世界の片隅に」（3月）等を実施し、戦争の悲惨さや平和の尊さを若い世代をはじめとする幅広い世代に伝える取り組みを行いました。 また、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会と連携し、自らの生き方を語る講座「生きること」（9月、全4回）や映画会（10月）やコンサート（12月）などを開催し、多様な人権啓発事業を展開しました。 《実績値》 「ひらかた平和フォーラム」のアンケート結果における「平和に対する関心や理解が大変深まった」「まあ深まった」の割合：90%
	平成30年度決算：6,189千円（平和啓発）、9,518千円（人権啓発）
取り組みに対する達成状況 【 ○ 】	

(4) DV 予防や男女共同参画の取り組みの推進	
方向性	次代を担う子どもたちに対し、暴力の被害者や加害者にならないためのDV予防や男女共同参画の理解を深める学習を推進するとともに、男女共同参画社会の実現に向け、市民を対象にした啓発講座や相談事業の充実を図ります。
取り組み	教育委員会と連携し、引き続き市立小学校4年生を対象に「DV予防教育プログラム」を実施するとともに、新たに市立中学校2年生を対象にした「デートDV予防教育プログラム」を実施します。また、ワーク・ライフ・バランスの促進に向けた男性対象の啓発講座や、多様な性への理解促進を目的とした啓発活動を行うほか、枚方市駅直結の男女共生フロア・ウィルの利便性を生かして幅広く市民が利用できるよう、男女共同参画推進拠点施設機能としての充実に努めます。

	<p>《目標値》</p> <p>「DV・デートDV 予防教育プログラム」実施クラス：27 クラス（昨年度比 10 クラス増）</p> <p>平成 30 年度当初予算：2,702 千円（DV 防止対策事業経費）、11,954 千円（男女共生フロア経費）</p>
実績	<p>DV 予防教育プログラムについては、小学校 5 校 12 クラスで実施しました（1 校は台風等のため実施できず）。また、中学生向けのデート DV 予防教育については、予定通り 7 校 35 クラスで実施しました。ワーク・ライフ・バランスの促進に向けた男性対象の啓発講座としては、7 月に男性を対象にした妻とのパートナーシップに関する講座と、8 月に父子を対象にした育児講座を実施しました。</p> <p>多様な性への理解促進に向けた取り組みとして、職員向けハンドブックの作成や、市民向け啓発リーフレットの作成を行ったほか、平成 31 年度より開始するパートナーシップ制度に向け、ひらかた・にじいる宣言を行うとともに、LGBT 専門電話相談窓口の設置に向け準備を行いました。</p> <p>男女共生フロア・ウィルでは、交流スペースを貸し出し、男女共同参画に資する市民の活動支援を行ったほか、仕事帰りの市民を対象にした男女共同参画に関するミニ講座や映画上映会を夜間の時間帯に実施（全 9 回延べ 87 人参加）し、幅広い市民層にウィルが身近な男女共同参画の拠点施設であることを PR しました。</p> <p>平成 30 年度決算：2,207 千円（DV 防止対策事業経費）、11,274 千円（男女共生フロア経費）</p>
<p>取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 ◎ 】</p>	

<p>（5）市への意見・要望の内容及び対応状況の共有化</p>	
方向性	<p>市民からの意見・要望とその対応状況の共有化について、「市長への提言」にとどまらず、庁内各課で受け付けしている個別案件も対象とし、より幅広い市民の意見を市政に反映します。</p>
取り組み	<p>本年度は試行として、個別の問い合わせの多い 10 課程度を対象に収集した意見・要望の内容及びその対応状況を一覧化し、市長に報告します。</p> <p>次年度以降、試行状況を検証したうえで、本格実施に向けた検討を進めます。</p>
実績	<p>平成 30 年 10 月末までを試行期間とし、対象とする案件については、月次で報告を受け、内容及び対応状況を一覧化し市長へ報告しました。試行期間における実績件数が少なかったことからシステム化等を行わず、次年度以降は「市長への提言」等の事務処理同様の対応をすることで、共有化を図ります。</p>
<p>取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 ◎ 】</p>	

2. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	<p>株式会社エフエムひらかたについては、平成29年3月策定の「第2期経営戦略プログラム」及び同アクションプランに基づく経営改善に向けた取り組みに対し、進捗管理を行ったうえで必要に応じた助言等を行います。</p> <p>特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会については、経営プランに基づいた自立的運営への取り組み及び特色ある事業の実施を促します。</p> <p>加えて、両団体について、昨年度に実施された外部評価への対応方針に沿った取り組みの進捗管理を徹底します。</p>
実績	平成29年度に実施した外郭団体等の経営状況等の点検・評価に対する、各団体及び市の対応を取りまとめた「外郭団体等の経営状況等の点検・評価結果に係る対応方針」に基づき、取り組みを行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-13. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（車両運転業務）	車両運転業務については、「技能労務職員が従事する業務について」〈考え方〉に基づき、秘書業務の一環として円滑で効率的な業務執行を確保する観点から、適正配置に向けた取り組みを進めます。
実績	円滑で効率的な業務の執行を確保する観点から、業務量に応じた適正な執行体制が確立できるよう、引き続き関係部署とも連携し、継続的な検討を行いました。その結果、令和元年度の車両運転業務については、技能労務職員を配置せず、事務職員での運用とすることとしました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
ペーパーレス化の推進	部に配布されたモニターを活用し、課内会議をペーパーレス化することなどにより、印刷枚数の昨年度比10%削減をめざします。
実績	会議開催時にタブレット端末を活用することで、会議資料のペーパーレス化を図り、紙の使用量の低減に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
広報紙への記事掲載ルール等の庁内共有	広報ひらかたに掲載する各課のお知らせ記事について、ルールに則った記事を各課広報担当者が作成できるよう研修を実施し、記事校正等に係る広報課の業務効率を改善します。
実績	広報ひらかたの原稿を作成する上での注意点や広報課へ依頼するときの決まりごとについて、その理由とともに分かりやすく解説する研修を10月24日に実施しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
市民相談関連書類における性別記載の廃止	男女共同参画の視点から、法律相談の「申込票」「個人相談票」「月間報告書」における男女の記載項目を削除（廃止）します。
実績	事務処理上、男女の区別が特段必要ないことを確認し、法律相談の「申込票」「個人相談票」「月間報告書」における男女の記載項目を削除しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
無料法律相談の拡充	弁護士もしくは認定司法書士による相談について、1年度に1回のみから、1年度に弁護士は1回、認定司法書士は2回までそれぞれ受けられるように改め、市民サービスの向上を図ります。
実績	法律相談の回数を拡充するとともに、相談内容に応じて弁護士または認定司法書士の振り分けを行ったことで、稼働率が向上し、市民の利便性が向上しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
市長への提言の進捗管理等	原則文書による回答に改めたうえ、回議書の起案や回答文書の発送を広聴相談課で行い進捗状況を確認することで、他部署の事務軽減と適正な進捗管理を行います。
実績	「市長への提言」の事務処理を見直したことにより、それぞれの案件の進捗状況や対応部署との調整等が容易となり、他部署の事務処理の軽減と適正な進捗管理を図ることができました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
携帯・スマホアンケートの回答率向上に向けた取り組み	携帯電話やスマートフォンを利用して市民が気軽に回答できるアンケートを実施するうえで、市共催事業への参加チケットを回答者に無料配布するなどの検討を行います。
実績	回答率向上に向けた取り組みとして、「図書カード」と「FM ひらかた・マイカタグッズ」を抽選でプレゼントする企画を検討・実施し、回答率の向上に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆平成29年3月に策定された「第2期エフエムひらかた経営戦略プログラム」及び同アクションプランに基づき、エフエムひらかたへの放送委託料予算を対前年度比で185万6,000円削減しました。

実績	「第2期エフエムひらかた経営戦略プログラム」に基づき、引き続きエフエムひらかたへの放送委託料の削減に取り組み、対前年度比で185万6,000円削減しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆ホームページのバナー広告で約222万円、広報ひらかた広告で約657万円の歳入予算を計上し、安定した広告収入を確保します。

実績	平成30年度は、バナー広告 約207万円、広報ひらかた広告 約545万円の歳入を確保しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆市民講座等の啓発事業について、平日以外の開催や関係他部局の事業との共催で、より効果的な啓発を行うとともに、運用面での効率化を図ります。

実績	大阪弁護士会との共催で実施する「法の日記念市民講座」をT-SITE主催のイベントに合わせて土曜日に開催し、効果的な集客・啓発等につなげました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆部内職員による意見交換を経て独自のワークプレイス改革に取り組み、ワーク・ライフ・バランスを推進します。

実績	グループウェアのマイスペース機能を活用し、各々の職員が担当する業務の進捗状況を共有することで、組織として効率的な業務遂行を行うとともに、ワーク・ライフ・バランスの推進に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆部に配付されたモニターを活用してペーパーレス会議を推進することで、職員のプレゼンテーション能力の向上を図ります。

実績	ペーパーレス会議を推進するため、タブレット端末を活用した会議を行いました。会議では、担当が各自作成した電子ファイルを資料に説明を行うことを徹底し、プレゼンテーション能力の向上を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆庁内各課の情報発信に係る個別相談に応じる「頼りになる広報課」としての支援体制をより充実させることにより、情報発信力を強化します。

実績	庁内報や研修を通じて「頼りになる広報課」の周知に努め、平成30年度は22課からチラシデザインなどについての相談37件に対応しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆全庁的な情報発信力の強化を目的として、若手職員向けのスキルアップ研修等を実施します。

実績	ターゲットの心をつかみ、的確に伝わる通知文やチラシを作るコツを伝える研修を10月24日に若手職員向けに実施しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆人権擁護推進本部や男女共同参画推進本部の研修を通して、職員がさまざまな人権課題や男女共同参画課題に気づき、DV被害者など困難な状況にある市民に適切に対応できる能力を培います。

実績	平成30年7月に「児童虐待防止に行政が求められること」をテーマに人権擁護推進本部研修会を実施し、子どもの人権問題に対する理解と人権意識の醸成を図りました。平成31年1月に「LGBTなど性的少数者の現状や課題について～「枚方市職員のための性の多様性への理解促進に向けたハンドブック」の活用に向けて～」をテーマに人権擁護推進本部と男女共同参画推進本部の合同研修を実施し、本市が作成したハンドブックをもとに、LGBTなど性的マイノリティの方への理解促進を図りました。また、DV被害者支援については枚方市DV関係機関連絡会議において「DV被害者が置かれている心理的状況と2次被害防止に向けて」をテーマに研修を行い、DV被害者の対応に当たる各関係機関の担当者が適切な支援を行えるよう取り組みました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆職場外で開催される接遇専門研修に参加し、そこで得た知識を OJT で共有化を図り実践することにより、職員一人ひとりの接遇サービスのさらなる向上を図ります。あわせて、窓口や電話応対におけるトラブル事例及び改善策を部内で共有し、市民満足度の向上を図ります。

実績	接遇専門研修に積極的に参加するだけでなく、研修で学んだ事を職場研修や OJT を通じて共有することで、職員一人ひとりの接遇サービスの向上に繋がりました。 また、各々が取得した情報を朝夕礼で共有を図ることで、スムーズな接遇の改善に努めました。	
	取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

5. 広報・情報発信

- ◆広報アドバイザーの助言を踏まえながら、市の認知度向上、定住促進につながる PR に努めます。



昨年開設した枚方市定住促進サイト

実績	各課からの相談内容を広報課で事前整理することでアドバイザーからの適切な助言につなげ、各課による PR の質の向上に努めました。 《平成 30 年度実績》会議開催数 11 回、相談案件数 51 件（延べ）。	
	取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆職員一人ひとりの広報意識・スキルをさらに高めるとともに、全庁的に情報発信力を強化するための研修等を実施します。

実績	ターゲットの心をつかみ、的確に伝わる通知文やチラシを作るコツを伝える研修を 10 月 24 日に広報担当者向けに実施しました。	
	取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆啓発事業を実施する際は、市広報紙をはじめ、様々な広報媒体を活用し、より多くの市民に参加していただけるよう効果的な広報・情報発信に努めます。

実績	市広報紙、HP、フェイスブック等による積極的な情報発信に努めるとともに、平成31年3月に開催した「平和の燈火（あかり）」においては、枚方市駅コンコースにあるデジタルサイネージを活用し、効果的な発信を行い、多くの市民へのPRに努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆昨年度レイアウト変更した「市長室へようこそ」や市公式フェイスブック内に掲載している「伏見市長のフォト便り」を活用し、枚方市の魅力や市長の動向・考えを広く市内外へ発信します。

実績	市HPにおいて定例記者会見の内容をまとめたページを新たに作成し、市の重要施策の情報発信の強化に努めるとともに、市長の資産公開のページを新たに作成しました。また、フェイスブックにおいて、伏見市長の公務風景の発信に引き続き取り組むとともに、市長が登場するフェイスブック記事のリンク先と写真を一覧できるページを作成しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	